

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 キンダールミナスⅡ

公表日 2026年2月28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・状況によっては狭くなってしまうこともあるため、別の部屋も利用し対応できている。	・長期休み時に朝から放デイの児童の利用があった場合、児童の利用児が落ち着いて療育が行えるようなスペースの確保に工夫が必要である。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		・急な体調不良等はもちろん、各々の家庭の事情による休みが取れやすいよう、職員のワークライフバランスにも配慮が必要である。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・子どもたちも職員も落ち着いて過ごせるよう、玄関に生花を飾ったり、穏やかなBGMを流したり、心地よい空間になるよう心がけている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・相談室も含めると、個室となる空間が3部屋あり、落ち着けるスペースを確保できるよう間仕切りも用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・毎日のミーティングの時間があることで、情報の共有や改善がなされやすくなっている。 ・PDCAサイクルを月1回作成し、他の職員との共有を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・保護者会等は開催していない ・保護者の意向を把握した上で、対応可能なものは改善している。	・昨年開所の為、今回初めて保護者からのアンケート評価を実施した為、今後内容を職員全員で共有し、業務改善に努めたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・日々ミーティングを行っている。 ・法人全体で「ほめ育」を導入し、自分、仲間、子ども、保護者、みんなの良い所、感謝する所などを話す機会を設けている。	・ほめ育の導入により、単なるミーティングだけではなく、職員同士も互いに意見を言いやすい関係性を築けてきている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6		・第三者による外部評価については、検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・研修参加には法人も個人も積極的である	・児童発達支援管理責任者研修をはじめ、虐待防止研修等、業務に関連する研修については積極的に参加を促している。
適切なサポート	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・支援プログラムの作成は行い、保護者の方への説明を行っている。	・現在ホームページ作成中のため、近日公表予定。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・子どもと関わる職員の評価を元に職員全体で共有している。	・毎日のミーティングを通して意見交換を行いながら、計画内容や目標、課題等について共有できている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・インフォーマルアセスメントとして、コードモンアプリを活用しての日々の行動を記録や、保護者面談、関係機関による情報等により状況を把握している。	・今後専門的知識を持った職員の採用やツールの導入などによるフォーマルなアセスメントも検討していく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・原案は指導員が個別に作成し、のちに職員全体で共有し、修正、立案を行っている。	・担当職員がまず立案したプログラムを職員全体で検討し、見直し等を行っている。さらに情報の共有を行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・子どもが通っている園、学校、施設等での課題も聞き取り反映している。 ・継続するという観点から固定期間が長い。月ごとに見直しを行っている。	・その都度子どもの変化を見逃さず、その時の子どもに最適なプログラムを検討し、固定化しないよう留意していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・子どもの発達状況により、個別活動が主である。	・子どもの課題や発達に応じて、小集団での活動等についても取り入れていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	・翌日の朝のミーティングの中で振り返り、情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	・同じ法人内のこども園との連携して支援を行っている。	・まだ開所して1年未満のため、関係機関との連携がまだまだ取れていない部分もあるため、今後連携を強化し、より良い支援ができるよう努めたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		・事業所間や、相談支援事業所、また園等と情報共有を積極的に行い、支援について理解を深めながら関わりを深めている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	・まだ移行した入所児はいない。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2	・未実施なので実施を検討していきたい。	・療育センターとの直接の連携はとれていないが、保護者の方から受診した結果ややり取りの内容等を教えていただく等し、情報を提供していただいている。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	1		・積極的に行ってはいない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		・送迎の際に保護者に伝えたり、コドモンアプリを通して密に連絡を取り合うことができている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	・集団でのペアレントトレーニングは行ってはいないが、個別に対応している。 ・まだ実施していない。	・引き続きこまめな情報提供は行っていく。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		・契約時、更新時等説明を行っている。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・定期的に面談を設けて意向を確認した上で支援を行っている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・年に2回個人面談を実施している。	・今後も要望があれば随時面談や見学等の対応を行い、家族支援を行っていく。送迎時等、家族の様子や家庭の状況も気にかけるようにし、必要であればこちらから声かけも行っていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5	・現在のところ、保護者からの交流希望の意見が無い	・今後要望があれば検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・コドモンアプリでの個別の発信や、インスタグラムによる発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		・十分に配慮している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・端的に話したり、文字、写真、図を用いて説明したりしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	・長期休み時のイベントとして行っている。	・長期休み時に地域の施設等への訪問を行った。今後も引き続き地域に開かれた運営を行いたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		・避難訓練については、さまざまな災害を想定して継続していきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・服薬については確認済	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	・保護者からのアセスメントに基づく対応。	・現時点では食物アレルギーのあるお子さんの利用が無い為
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		・非常時の対応や取組内容について、家族等への周知を図りたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		・もしヒヤリハット事例が発生した場合には速やかに情報の共有を行い、再発防止に努め、対応の確認や環境整備を行う。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		・全職員が研修受講できるようにしている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	2	・本人または周りの児童に危害が及ぶ可能性がある場合に行う。	・保護者の方に同意書を記入していただき、実施した場合は記録し、説明を行っている。	